



「ICMA Annual General Meeting & Conference 2025」 において開催されたラウンドテーブルに参加しました

2025 年 6 月 6 日(金)、ドイツ・フランクフルトで開催された「ICMA Annual General Meeting & Conference 2025」におけるラウンドテーブル「Climate Transition Finance in Japan and the Next Steps to Decarbonization」に、GX 推進機構から高田理事が参加しました。

1. 「ICMA Annual General Meeting & Conference 2025」の概要

- 〔日付〕 2025 年 6 月4日(水)～6 日(金)
- 〔場所〕 Kap Europa Congress Centre(ドイツ・フランクフルト)
- 〔主催〕 国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)
- 〔参加者〕 世界 60 カ国から約 1,200 名

2. ラウンドテーブルの概要及びその模様

- 〔日付〕 2025 年 6 月 6 日(金)
- 〔名称〕 Climate Transition Finance in Japan and the Next Steps
to Decarbonization
- 〔主催〕 日本証券業協会
- 〔参加者〕 約 70 名

本ラウンドテーブルでは、日本におけるトランジション・ファイナンス及び脱炭素化に向けた今後の展望に焦点を当て、ICMA の副 CEO 兼サステナブルファイナンス部門ヘッドであり、当機構の Global Advisory Council のメンバーであるニコラス ファフ氏がモデレーターを務めました。

日本からは、日本証券業協会(主催者)、政府関係者および当機構が、加えて ICMA のボードメンバーを含む欧州の市場関係者、シンガポールや台湾を含むアジア各国や中東の市場関係者等が参加するグローバルな参加者の間で、活発なディスカッションが行われました。

当機構の高田理事は、日本政府の GX 政策を踏まえ、当機構の役割や取組み等を紹介しました。日本における今後の GX 政策の推進や 150 兆円超に及ぶ GX 投資の実現に対する国際的な関心の高さが確認され、多排出産業の段階的な脱炭素化を支援するトランジション・ファイナンスの重要性が改めて認識される機会となりました。



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者:財務・サステナビリティ推進部

海部、天達、清水、會田

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。